

# オアシス新聞

第十五号  
間もなく始まる蝉時雨

シトシトと静かに降りそそぐ、綿糸のように細い雨。森にはシダが茂り、紫・紅・白と様々な表情を見せるアジサイが路を彩ります。梅雨は全ての景色をしつとりと包み込みます。

チーチー。あれ？気が付くと静かだった林の中に、チーとかジーといった音が鳴り続けます。これはニイニゼミの鳴き声です。一定で単調な鳴き声のため、鳴いているのに気が付かない、耳に入っていないということも多いです。やがて数が増え、鳴き声の音量が大きくなると、さすがに「あっ、セミが鳴いてんだ」と気付きます。一度気になるとかなりの数が鳴いていることがわかります。

そうか、セミが出始めたのか、夏が来たな。と思っていると、今度はヒグラシが鳴き出します。カナカナカナ…という寂しげな鳴き声ゆえか、ヒグラシはなんとなく夏の終わりのイメージがありますが、実際には梅雨の最中から始めます。日中はあまの鳴かず、日の出前や夕暮れ時など、薄暗く、比較的涼しい時間帯によく鳴きます。

梅雨も明け夏が本格的に始まるよ、お馴染みのミンミンゼミとアブラゼミが鳴き出します。セミの名前は鳴き声に由来しているものが多いですが、アブラゼミはジジジジジという鳴き声が、油で揚げているときの音に似ているからと言われています。どちらとも真夏を盛り上げる昆虫ですが、鳴き声が大いいため、集団で鳴かれると少タイラックとすることもめずれません。

そして最後にツクツクボウシが出始めますが、ツクツクボウシの鳴き声が目立つようになる頃には他のセミの勢力は落ちてきているため、夏の終わりを告げるセミというイメージがあります。

さてみなさん、これらのセミの見分けはできますか？

**オレシオ** (Oreshio)  
スマートな体つき。比較的スマートな体つきをしています。  
オレシオの方がスマートな体つき。

**ツクツクボウシ** (Tsukutsukuboushi)  
ヒグラシの体長は21〜38mm位。  
ツクツクボウシの体長は29〜31mm位。

**ヒグラシ** (Higurashi)  
ボクたち似てるようにも、似てます。

**ニイニゼミ** (Niyinisemi)  
かわいい系♡  
ニイニゼミの体長は20〜24mm位と小さめ。朝は透明と不透明のまだら模様。

**アブラゼミ** (Aburazemi)  
翅がめずらしい。

**ミンミンゼミ** (Minminsemi)  
けっこうずんぐりむっぐり。  
太く短かい腹部をしています。  
ミンミンゼミの体長は33〜36mm位。

**アブラゼミ** (Aburazemi)  
アブラゼミの体長は56〜60mm位と大型。翅全体が不透明であるのは世界的に見てもめずらしい。

